

マタイの福音書 第4章 3節

「あなたが神の子なら、この石がパンになるように、命じなさい。」

荒野でイエスを試みる者が近づき放った言葉である。荒涼とした地にひとり立つ者に近づき来て言う言葉である。見渡す限り地平のかなたまで、石だけが散在する地で空腹と渇きにあるイエスが聞く試みの言葉である。

見渡す限り草木一層も無い地である。命が見当たらない地である。今日から明日への望みが得難い地である。それだけに、いま何かをなさい。必要不可欠な糧を手にする行動をなさい。街の人々が、あなたを、あなたの出た所を認めるパフォーマンスをなさいと試みる。

そのチャレンジに応えたなら、あなたが言っていることを世間は認める。あなたが何かをしなければ世はあなたの本当の姿を認めようとしないうらう。孤立無援で石ころだけの荒地に立ち、自分が自分であることを試される。試練を乗り越えるのは自分次第と思わされる試みがある。やればできるだろう、と誘惑の声がささやかれる。

イエスは言われる。「人はパンだけで生きるのではなく、神の口から出る一つ一つのことばによる。」試みに応えるのではない。神に向き、神に聞き、それで生きる。